

メキシコ金融政策（2020年3月）

メキシコ銀行は0.50%ポイントの緊急利下げを実施

2020年3月24日

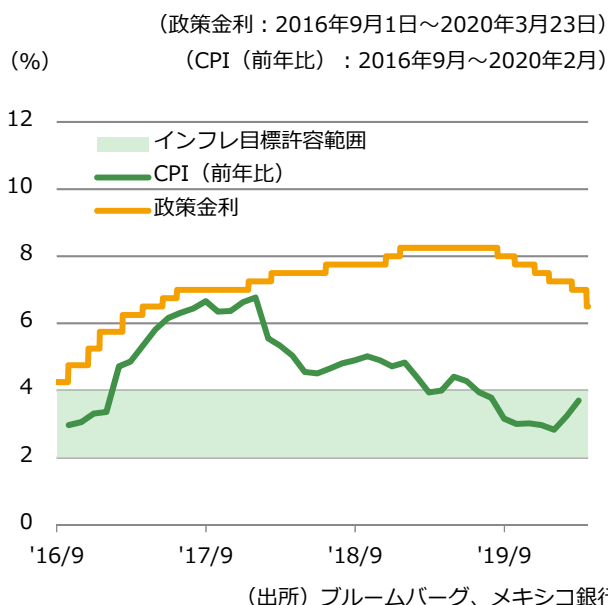
金融市場の安定を図り、緊急利下げを実施

メキシコ銀行（中央銀行）は3月20日（現地、以下同様）、政策金利を7.00%から6.50%とすることを決定しました。メキシコ銀行は今月26日に定例の金融政策会合を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス問題への対策のために前倒しで会合を実施し、0.50%ポイントの利下げが決定されました。発表直後にメキシコ・ペソは対米ドルで下落しており、その後も軟調な推移となっています。

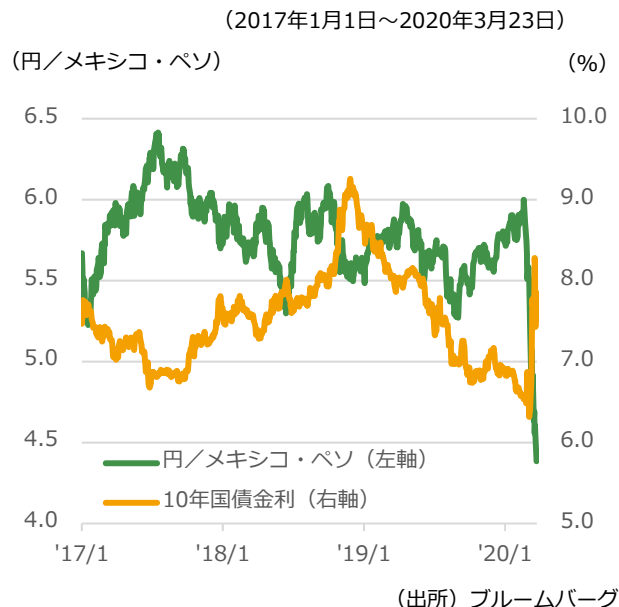
メキシコ銀行は声明文で、中国発の新型コロナウイルスの感染拡大により、経済活動の下振れリスクが高まったことに加え、メキシコ・ペソ安やメキシコ国債の利回り上昇などに対し、国内金融市場を落ち着かせるために利下げを決定したと表明しています。インフレ率に関しては、国際的なエネルギー価格（主に原油価格）の下落が下押し圧力となる一方で、大幅なペソ安によるインフレ圧力の上昇も想定されると述べています。インフレ見通しには不透明感が残るものの、足元のインフレ率はメキシコ銀行が目標としている3%台を維持していることから早期の利下げが適切だと判断した模様です。また、利下げ以外にも、民間銀行がメキシコ銀行に預ける預金を500億ペソ減らす政策などを打ち出し、銀行間取引の活発化や貸し出しの拡大を図っています。

新型コロナウイルスの感染拡大が収束するまでの時間軸や経済への影響などの不透明感は強いことから、当面は感染状況や世界経済への影響、また新興国の資金流出入動向を注意深く追っていく必要があると考えます。

政策金利と消費者物価指数（CPI）の推移



為替と国債金利の推移



当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更します。

大和投資信託

Daiwa Asset Management